

報告事項 2



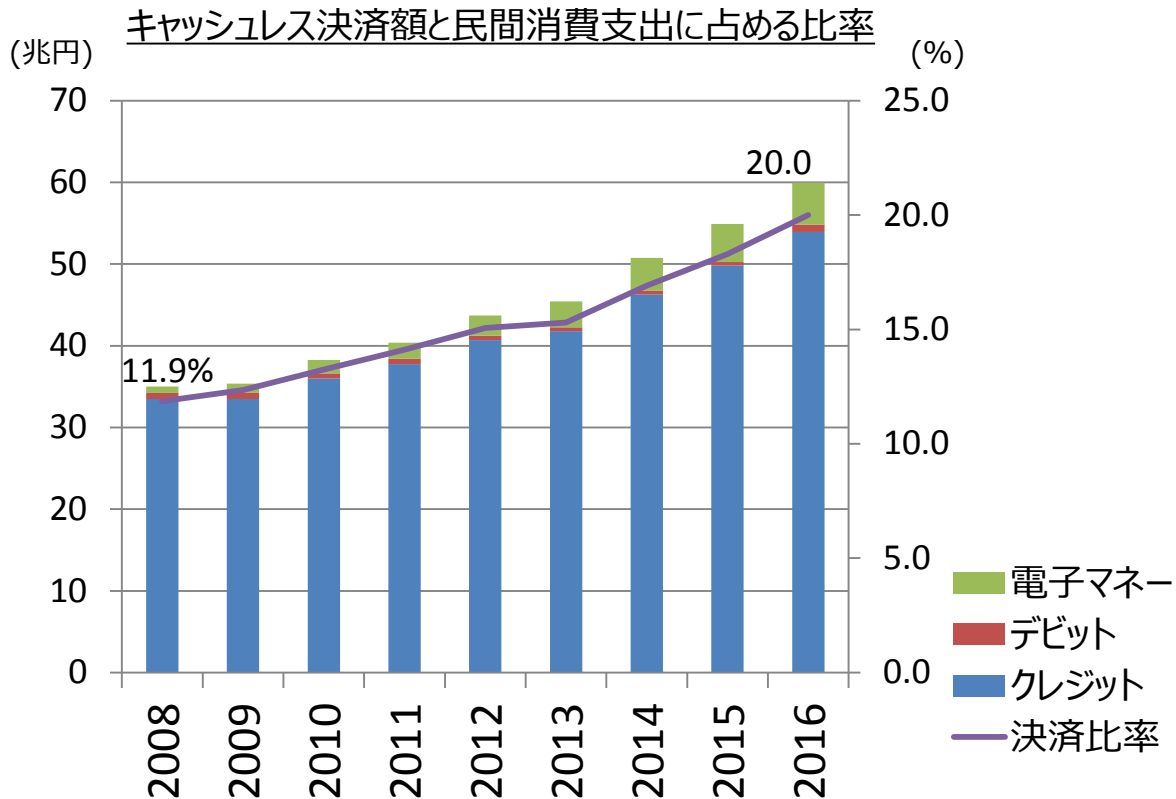
# キャッシュレスの現状と推進

平成29年8月  
商務・サービスグループ

# 1. キャッシュレスの現状と推進

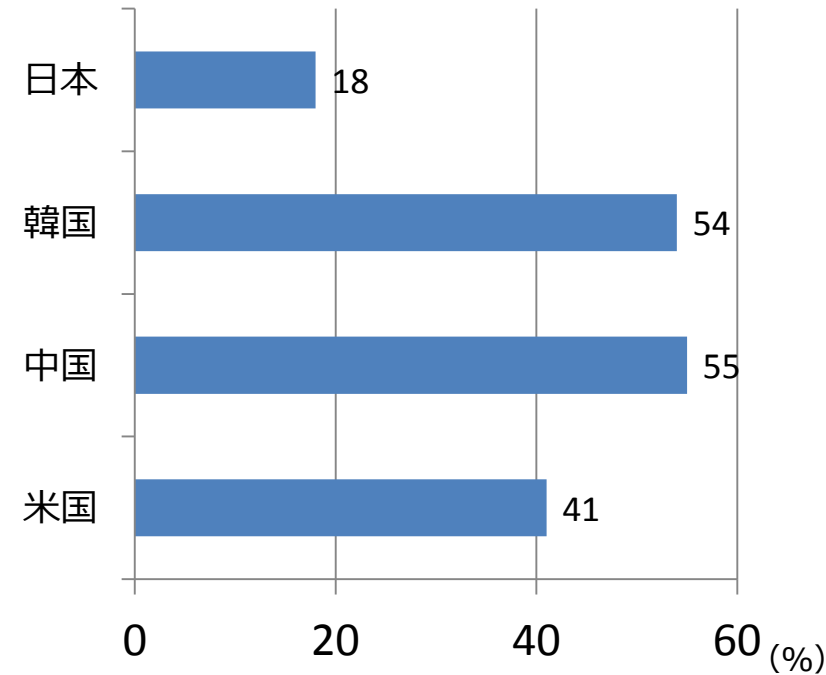
# キャッシュレス決済の利用状況①

- キャッシュレス決済は、決済額及び民間最終消費支出に占める比率ともに増加。
- キャッシュレス決済比率は、海外諸国と比較するとまだ低く、更なる拡大が期待される。



(出典) ・内閣府「2015年度国民経済計算年報」民間最終消費支出：名目  
 ・(一社)日本クレジット協会調査 (注) 2012年までは加盟クレジット会社へのアンケート調査結果を基にした推計値、平成25年以降は指定信用情報機関に登録されている実数値を使用。  
 ・デビット：日本デビットカード推進協議会(J-debitのみ)  
 ・電子マネー：日本銀行「電子マネー計数」

キャッシュレス決済比率の各国比較 (2015年)

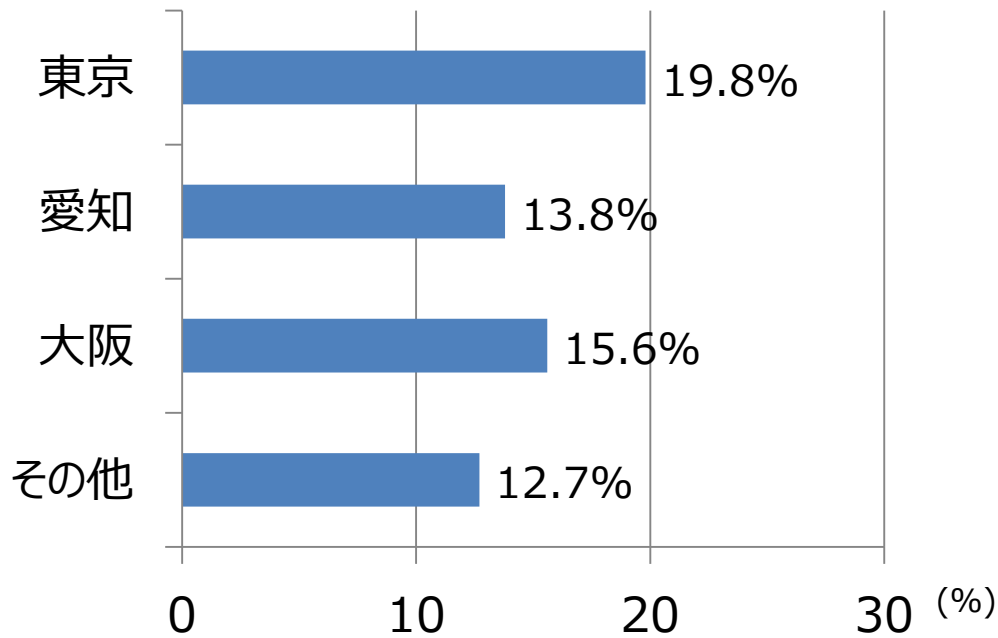


(出典) 日本は左と同じ。  
 その他の国は、EUROMONITOR INTERNATIONAL年次レポート(クレジットカード、デビットカード、プリペイドカード(電子マネー含む)を含む。)

## キャッシュレス決済の利用状況②

- クレジットカードの利用率は、大都市圏の方が高い。

### 小売業におけるクレジットカード 決済比率



(出所) 平成26年商業統計表

### 各業種の決済対応比率

業種	カード決済可能な割合
スーパー	71%
フランチャイズ	63%
タクシー	51%
旅館	90%

※スーパー、フランチャイズは企業ごとに、一部の店舗でもカード決済に対応していれば計上

※タクシーは台数ベース（法人タクシーのみ）

(出所)

経済産業省実施流通業界アンケート（平成24年6月）

(一社) 全国ハイヤー・タクシー連合会

(一社) 日本旅館協会アンケート調査

# キャッシュレス推進に向けたこれまでの経緯

- 安倍政権では、「日本再興戦略」をはじめ、様々な場でキャッシュレス推進の方針を打ち出してきた。

「日本再興戦略」改訂2014<sup>\*1</sup>  
(平成26年6月24日閣議決定)

「キャッシュレス化に向けた方策」  
(平成26年12月26日公表)

「日本再興戦略」改訂2015<sup>\*2</sup>  
(平成27年6月30日閣議決定)

「明日の日本を支える観光ビジョン」  
(平成28年3月30日策定)

「日本再興戦略2016」<sup>\*3</sup>  
(平成28年6月2日閣議決定)

「未来投資戦略2017」<sup>\*4</sup>  
(平成29年6月9日閣議決定)

## <方針>

2020年のオリパラ等を踏まえ、キャッシュレス化にむけた対応策を検討。

【抜粋】2020年オリンピック・パラリンピック東京大会等の開催等を踏まえ、キャッシュレス決済の普及による決済の利便性・効率性の向上を図る。このため、訪日外国人の増加を見据えた海外発行クレジットカード等の利便性向上策、クレジットカード等を消費者が安全利用できる環境の整備及び公的分野での電子納付等の普及をはじめとした電子決済の利用拡大等について、関係省庁において年内に対応策を取りまとめる。

策定された「キャッシュレス化に向けた方策」の推進。

【抜粋】昨年12月に関係省庁で取りまとめた「キャッシュレス化に向けた方策」に基づき・・・訪日外国人向けの利便性向上、・・・クレジットカード等を安全に利用できる環境整備及び・・・公的分野における電子決済の利用拡大等に係る施策を推進する。

- ①「キャッシュレス化に向けた方策」の推進
- ②観光ビジョンの推進（外国人が訪れる主要観光施設等でのカード対応 等）
- ③ビッグデータの利活用

キャッシュレス化の推進、消費データの共有・利活用。

【抜粋】・今後10年間（2027年6月まで）に、キャッシュレス決済比率を倍増し、4割程度とすることを目指す。  
・FinTechの活用等を通じた消費データの更なる共有・利活用を促進するため、クレジットカードデータ利用に係るAPI連携の促進・・・等の環境整備を本年度内に行う。

\*1:<http://www.kantei.go.jp/jp/singi/keizaisaisei/pdf/honbun2JP.pdf> \*2:[http://www.kantei.go.jp/jp/singi/keizaisaisei/pdf/dai2\\_3jp.pdf](http://www.kantei.go.jp/jp/singi/keizaisaisei/pdf/dai2_3jp.pdf)

\*3:[http://www.kantei.go.jp/jp/singi/keizaisaisei/pdf/zentaihombun\\_160602.pdf](http://www.kantei.go.jp/jp/singi/keizaisaisei/pdf/zentaihombun_160602.pdf) \*4:[http://www.kantei.go.jp/jp/singi/keizaisaisei/pdf/miraitousi2017\\_t.pdf](http://www.kantei.go.jp/jp/singi/keizaisaisei/pdf/miraitousi2017_t.pdf) 4

# キャッシュレス化に向けた方策

- 関係省庁にて2014年末に、下記の内容の方策を公表。

## キャッシュレス化に向けた方策 概要

### 1. 訪日外国人向けの利便性向上

- (1) 海外発行クレジットカード等での現金引き出しが可能なATMの普及【観光庁、金融庁】
- (2) クレジットカード等使用可能店舗での表示促進【経産省、観光庁】
- (3) 地方商店街や観光地等でのクレジットカード等決済端末の導入促進【経産省、観光庁】
- (4) 海外発行クレジットカード等での交通系カードの利用環境の整備【国交省(観光庁含む)、金融庁、経産省】
- (5) 百貨店における面前決済の一般化【経産省】

### 2. クレジットカード等を安全に利用できる環境整備

- (1) クレジットカード決済システムの乱用防止（悪質な加盟店の排除等）【経産省】
- (2) クレジットカード番号や個人情報管理等のセキュリティ対策強化【経産省】
- (3) クレジットカード及びクレジットカード決済端末のI C化並びに、POS端末を含むキャッシュレス決済端末のセキュリティー仕様の標準化【経産省】
- (4) 消費者教育の充実によるキャッシュレス決済の適切な使い方に関する理解の促進【経産省、消費者庁】

### 3. 公的分野の効率性向上の観点からの電子決済の利用拡大

- (1) 公的納付金の電子納付の一層の普及・・・地方税は平成18年から、国税は平成29年1月からクレジットカードで納付可能化【IT室、関係省庁】
- (2) 官公庁において年度をまたがってクレジットカードを利用可能化【行革事務局、関係省庁】

# 明日の日本を支える観光ビジョン

- 当会議での議論を踏まえ、観光先進国の実現に向け、以下の方針と報告書を策定。

## 「明日の日本を支える観光ビジョン」 – 世界が訪れたい日本へ –

平成28年3月30日策定

### 「観光先進国」への「3つの視点」と「10の改革」

#### 視点1

「観光資源の魅力を極め、  
地方創生の礎に」

#### 視点2

「観光産業を革新し、国際競争力  
を高め、我が国の基幹産業に」

#### 視点3

「すべての旅行者が、ストレスなく  
快適に観光を満喫できる環境に」

### 【報告書関連部分抜粋】 明日の日本を支える観光ビジョン（抄）

#### 視点3. すべての旅行者が、ストレスなく快適に観光を満喫できる環境に

キャッシュレス環境の飛躍的改善（海外発行カード対応ATMの設置促進を含む）

- 3メガバンクの海外発行カード対応ATMについて、従来、2020年までに、全ATM設置拠点の約半数で整備(計約3千台)する方針であるが、これの大幅な前倒しを要請(2018年中にその大半を設置)するほか、以下の取組を実施。

<中略>

- 2020年までに、外国人が訪れる主要な商業施設、宿泊施設及び観光スポットにおいて、「100%のクレジットカード決済対応」及び「100%の決済端末のIC対応」を実現することを含め、以下の取組を実施。

# 「日本再興戦略」2016

## I 新たな有望成長市場の創出、ローカル・アベノミクスの深化等

### 1. 第4次産業革命の実現

#### (2) 新たに講ずべき具体的施策

i) 第4次産業革命の鍵を握る人工知能技術の研究開発と社会実装を加速するための司令塔機能の確立と規制・制度改革、企業や組織の垣根を越えたデータ利活用プロジェクト等の推進

#### ②規制・制度改革、データ利活用プロジェクト等の推進

##### 【個別プロジェクトの実行実現】

##### <BtoCのビジネス領域関連>

ービッグデータの利活用を通じて多様化する国内消費者や訪日外国人等のニーズを的確に捉えることにより、優れた商品・サービスの開発、魅力ある観光の提供、インバウンド需要の更なる喚起などにつなげるため、次の取組を進める。

・本年内にクレジットカード決済、購買情報等に関する必要なデータ標準化を推進する。

### 4. 観光立国の実現

#### (2) 新たに講ずべき具体的施策

iii) すべての旅行者が、ストレスなく快適に観光を満喫できる環境に

#### ⑥キャッシュレス環境の飛躍的改善

・2020年までに、外国人が訪れる主要な商業施設、宿泊施設及び観光スポットにおいて「100%のクレジットカード決済対応」及び「100%の決済端末のIC対応」を実現するため、クレジットカード決済・IC対応端末の普及を促進する。

## II 生産性革命を実現する規制制度改革

### 2-2. 活力ある金融・資本市場の実現

#### (1) 新たに講ずべき具体的施策

iii) キャッシュレス化の推進等

2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催等を踏まえ、キャッシュレス決済の普及による利便性・効率性の向上を図るため、平成26年12月に関係省庁で取りまとめた「キャッシュレス化に向けた方策」に基づき、観光地や地方のキャッシュレス環境の普及などを推進する。



# 「未来投資戦略」2017

## I Society5.0に向けた戦略分野

### 5. FinTechの推進等

#### (1) KPIの主な進捗状況

《KPI》今後3年以内（2020年6月まで）に、80行程度以上の銀行におけるオープンAPIの導入を目指す。

※今回、新たに設定するKPI

《KPI》今後10年間（2027年6月まで）に、キャッシュレス決済比率を倍増し、4割程度とすることを  
目指す。

※今回、新たに設定するKPI

《KPI》今後5年間（2022年6月まで）に、IT化に対応しながらクラウドサービス等を活用してバックオフィス業務（財務・会計領域等）を効率化する中小企業等の割合を現状の4倍程度とし、4割程度とすることを目指す。

※今回、新たに設定するKPI

《KPI》2020年度までに、日本のサプライチェーン単位での資金循環効率（サプライチェーンキャッシュコンバージョンサイクル：SCCC）を5%改善することを目指す。

※今回、新たに設定するKPI